

### 【今週の注目疾患】

#### インフルエンザ

2017年8週の県全体の定点当たり報告数は、7週の27.02から減少し17.94となった。4週連続で減少したものの報告数が多い状態が続いている。また、A型の報告数は減少しているが、B型の報告数は増加しており、今後も流行状況に注意が必要である。

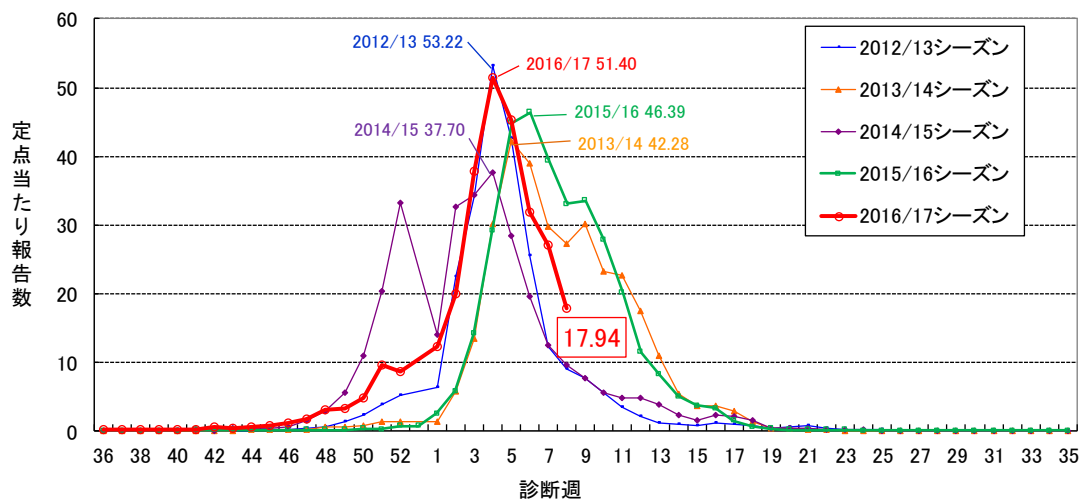
保健所別の定点当たり報告数は、16保健所全ての保健所管内で減少し、松戸(21.64)、船橋市(21.29)、柏市(21.14)、習志野(21.06)、君津(19.77)、印旛(18.29)が多い。

2017年8週の年齢群別報告割合は、5～9歳30.3%、0～4歳18.6%、10～14歳16.4%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳25.4%、10～14歳18.6%、0～4歳15.9%が多かった。

2017年8週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、3,728例中A型3,207例(86.0%)、B型513例(13.8%)、A and B型3例(0.1%)、A or B型5例(0.1%)であった。A型の報告数は減少したが、B型の報告数は増加した。2016/17シーズン合計では、57,223例中A型54,443例(95.1%)、B型2,541例(4.4%)、A and B型42例(0.1%)、A or B型197例(0.3%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)  
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

